

番 号	県 1	区 分	県指定文化財
種 別	県 宝	所 有 者	個 人
名 称	藤原家住宅		
指定年月日	昭和53年7月27日		
所 在 地	南木曾町吾妻（大妻籠）		

概 要

藤原家住宅は、木曾地域において現存する民家遺構としては最も年代が古いものと考えられ、建築年代はおよそ17世紀後期にさかのぼるものと推察される。事前調査でも「大戸口の部分をとりこわし、土間の側面を全部新材でとりかえ、間仕切りに改造が大であるが、当初部分は県内民家でも最も古いクラスの家である」ことがわかった。

その後いく度かの改造を経て、今日まで藤原家の主屋として使用されてきたが、昭和62年10月から平成元年3月にかけて解体復元工事を行い、建築当初の姿に復原した。主な復元内容は次のとおりである。

- ・後補屋根を撤去し、当初屋根勾配に復し、栗へぎ板葺き石置屋根に復原。
- ・背面二間、および東・北面縁側の増築部を撤去
- ・撤去されていた大戸口回り（2×1間半）を復原。
- ・「にわ」回りの小部屋を撤去。
- ・「かつて」の部屋境を1間後退して3×3間とし、1間幅の「ねま」を復原。
- ・囲炉裏、火棚、自在鉤、流し、水桶、竈、むろ、神だな等を復原。
- ・梁間…6間 桁行…4間半 建坪…27坪（89.43㎡）

